

富士見丘小学校 の人権教育 「ふれあい月間」

令和
5年度

垣根のない学校をめざして

本校では、「例外なく誰もが安心して過ごせる、一人一人にとって居心地の良い学校」をめざして、みんなが共に学び、共に育つ「垣根のない学校」というインクルーシブ教育の視点を前面に打ち出し、誰もが過ごしやすい社会をつくる心の芽を育てています。

共にある教育を目指し、学校、保護者、地域が協働しています

地域と共に

▶ レクリエーション、ボランティア活動

地区委員会とPTAが一体となって、「水鉄砲大会」などのレクリエーション、「丸池清掃」「グリーンボランティア」などの清掃活動をしています。感謝、感謝です。保護者、地域、学校の垣根をつくりません。



保護者の参画

▶ 朝の読み聞かせ、地域探検・地域訪問

保護者による読み聞かせをしています。学級と家庭が一体となって、アットホームな雰囲気になれ、やさしい笑顔になります。地域探検は保護者に見守られながら安全を確認します。保護者と子供たちの垣根をつくりません。



先生と児童、児童同士のより良い関係を深めています

SOSカード

▶ 一人で悩まないで、伝えてみよう

SOSカードは、気兼ねなく先生に相談しやすくする「お守り」です。「私の先生」になってくださいと相談したい先生を訪ねて、絆を深めています。人格を認め合い、互いの尊敬と信頼により、子供たちと教員の垣根をつくりません。



コグトレ

▶ 認知や感情統制、対人スキルなど

基礎学力の土台作り「認知機能強化トレーニング（注意力）」、不器用さの改善「認知作業トレーニング（身体使う）」、対人スキルの向上「認知ソーシャルトレーニング（感情のコントロール）」などにより、社会性の垣根をつくりません。



かけがえのない命、心を守るために人権について学んでいます

命の授業

▶ 校長先生の道徳「命の授業」

すべての命は、かけがえのないものであり、命や心を大切にすることを深く考える機会としています。心は目に見えません。目に見えないからこそ、相手の気持ちになって考えることの大切さに気付くことで、心の垣根をつくりません。



人権集会

▶ 人権集会、思索コンテスト

人権集会では、人権標語(5年)、人権作文(6年)を発表、全校児童で共有、考える場としています。思索コンテストでは、一人一人がテーマに向き合い、思索し、自分の考えを自分の言葉で表現し、思考の垣根をつくりません。

